

事業効果

現県道の県道 74 号(小田原山北)の久野坂下交差点から上多古交差点の区間は、幅員が非常に狭く、急勾配が続き、大型車が通行できないという道路ネットワーク上の課題がありました。さらに、ほとんどの区間に歩道がなく、交通安全上の課題もありました。本バイパス区間の開通により、市北部から小田原駅、市役所や総合医療センターなど市中心部へのアクセスが格段に向上し、地域間の交流や連携がこれまで以上に促進されます。また、幅が広く歩道も整備された新たな道に交通が転換されることで、歩行者・車両の安全性が向上し、災害時の緊急輸送道路としての機能も強化されます。



急勾配で幅の狭い県道74号



走行しやすい城山多古線・小田原山北線

トンネル名称について

新坂下トンネルは、都市計画道路城山多古線の丘陵地を貫く、延長約230mのトンネルです。トンネル名称は公募を行い、応募総数305件から選定委員会を経て決定しました。小田原厚木道路の「坂下トンネル」に並行する新たなトンネルとして、分かりやすく、地域に深く馴染む名前として採用しました。また、トンネル入口に掲げられている銘板の文字は、地元・小田原市久野地区の出身の書道家、永井 香峰(ながい こうほう)先生の揮毫です。

新坂下トンネル



坂下トンネル(左)と新坂下トンネル(右)



新坂下トンネル多古側坑口

祝 開通

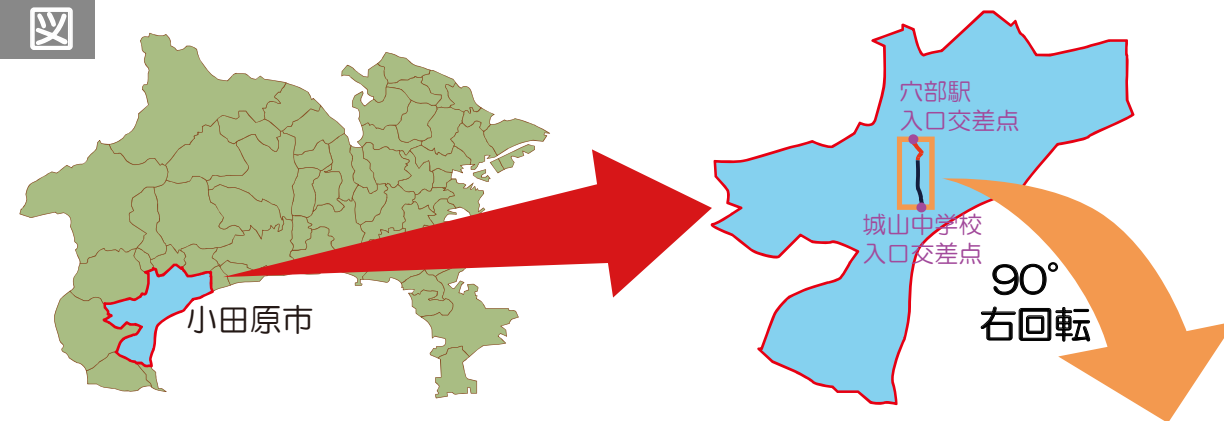
都市計画道路
城山多古線・小田原山北線



事業概要

県では、県西地域における道路ネットワークの強化と、安全で円滑な交通の確保を目的とし、小田原市中心部と市北部を南北に結ぶ「都市計画道路 城山多古線」と「都市計画道路 小田原山北線」を一体的に整備する事業(延長約 3.1km)を進めてきました。
 これまでに約 2.1 km 区間(城山中学校入口交差点～山神下交差点)が段階的に完成し、今回、新たに整備した新坂下トンネルを含む約 1.0km のバイパス区間(山神下交差点～穴部駅入口交差点)が完成し、全線開通となりました。

位置図

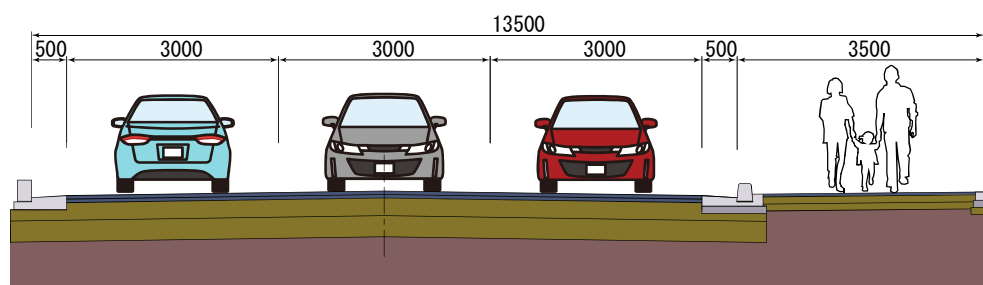


事業平面図

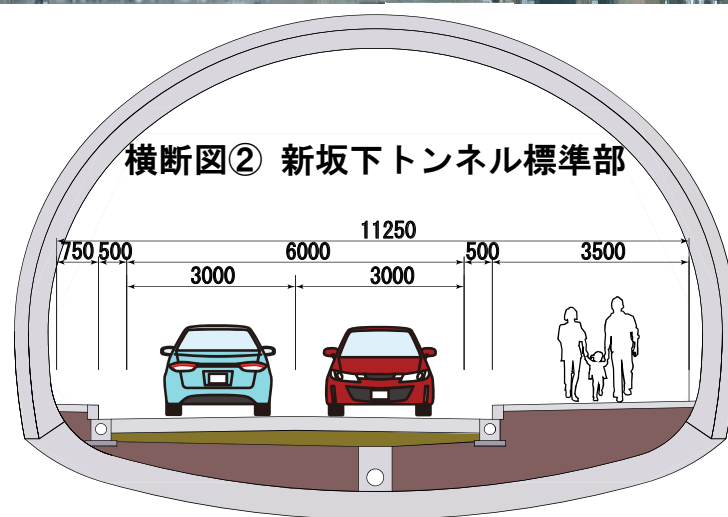


横断図

横断図① 城山多古線V期交差点部



横断図② 新坂下トンネル標準部



横断図③ 小田原山北線標準部

